

適性検査 II

令和 8 (2026) 年 2 月 3 日 (火) 実施

注 意

- 1 指示があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は **10 ページ**まであります。
- 3 問題用紙のあいているところは自由に使ってかまいません。ただし、問題用紙に書いたものは採点されません。
- 4 解答用紙は 1 枚です。解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 5 検査時間は **45 分**です。
- 6 声を出して読んではいけません。
- 7 問題用紙には**受検番号**と**氏名**を、解答用紙には**受検番号**を記入してください。
- 8 問題についての質問は受けません。
- 9 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書いてください。
- 10 問題用紙を持ち帰ることはできません。解答用紙と**いっしょ**に提出してください。

受検番号

氏名

東京学芸大学附属国際中等教育学校

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY INTERNATIONAL SECONDARY SCHOOL

問題は次のページからです。

現在の世界では人を**ふくめ**多くのモノが国を**こ**えて大規模に動き、世界規模での人の移住と移動(観光を**含まない**)
が世界各地に大きな**えいきょう** **あた**を与えています。

問1 東アジア地域でも、各国の社会情勢により人の移住と移動がおきています。

(1)〔資料1〕を読み、東アジア地域で人の移住と移動がおきている理由を3行で説明しなさい。解答は解答欄
の枠内に書きなさい。

〔資料1〕東アジアの移住と移民

東アジア全域で人口減少と深刻な労働力不足が続く中、一部の国では移民労働者への**いぞん**依存度が高まっている。
る。

かんこく韓国では2022年に出生率が統計開始以来の最低水準に**おちこ**ち込み、人口危機が深刻化した。女性一人当たりの
の平均出産数が0.78人となり、これは世界最低の出生率でもある。日本も過去数十年で人口減少が続いてお
り、2022年の出生数は80万人を下回り、これも過去最低を記録した。日本は**こうれいか**高齢化と労働力人口の減少に
も直面している。中国では、2022年に1961年以来初めて人口が減少に転じ、出生率も低下を続けている。

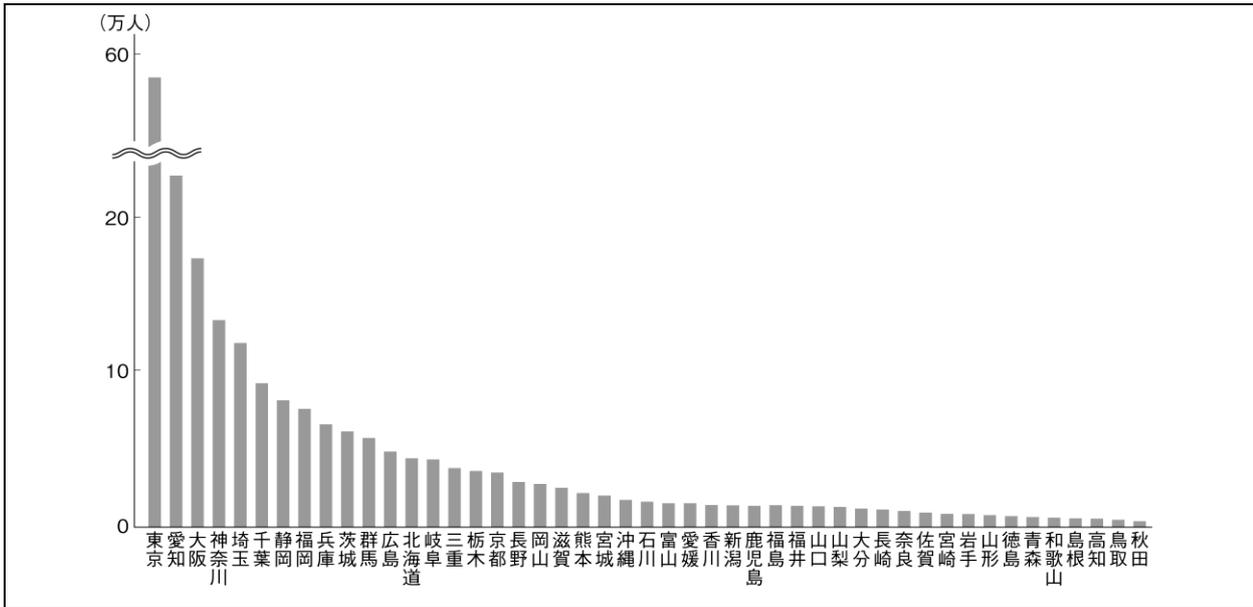
特に韓国と日本における労働年齢人口の急激な減少を含むこうした人口動態の変化は、政策立案者の**げねん**懸念
を招き、移民増加策を含む労働力増強のための様々な**しきく** **うなが**施策を促している。韓国は、農業などの重要分野の人
材不足を補うため、2022年末に、2023年には約11万人の外国人労働者を受け入れる計画を発表した。日
本も主要分野での外国人労働者受け入れを**けいぞく**継続しており、最近発表された「特定技能」プログラム(アジア14
カ国との**きょうりょくおぼえがき**協力覚書を含む)を通じた受け入れも進めている。

(国際移住機関「世界移民レポート2024」をもとにし、問題作成のため日本語訳(DeepLを使用)および一部改変しています。)

このページに検査問題はありません。次のページに進んでください。

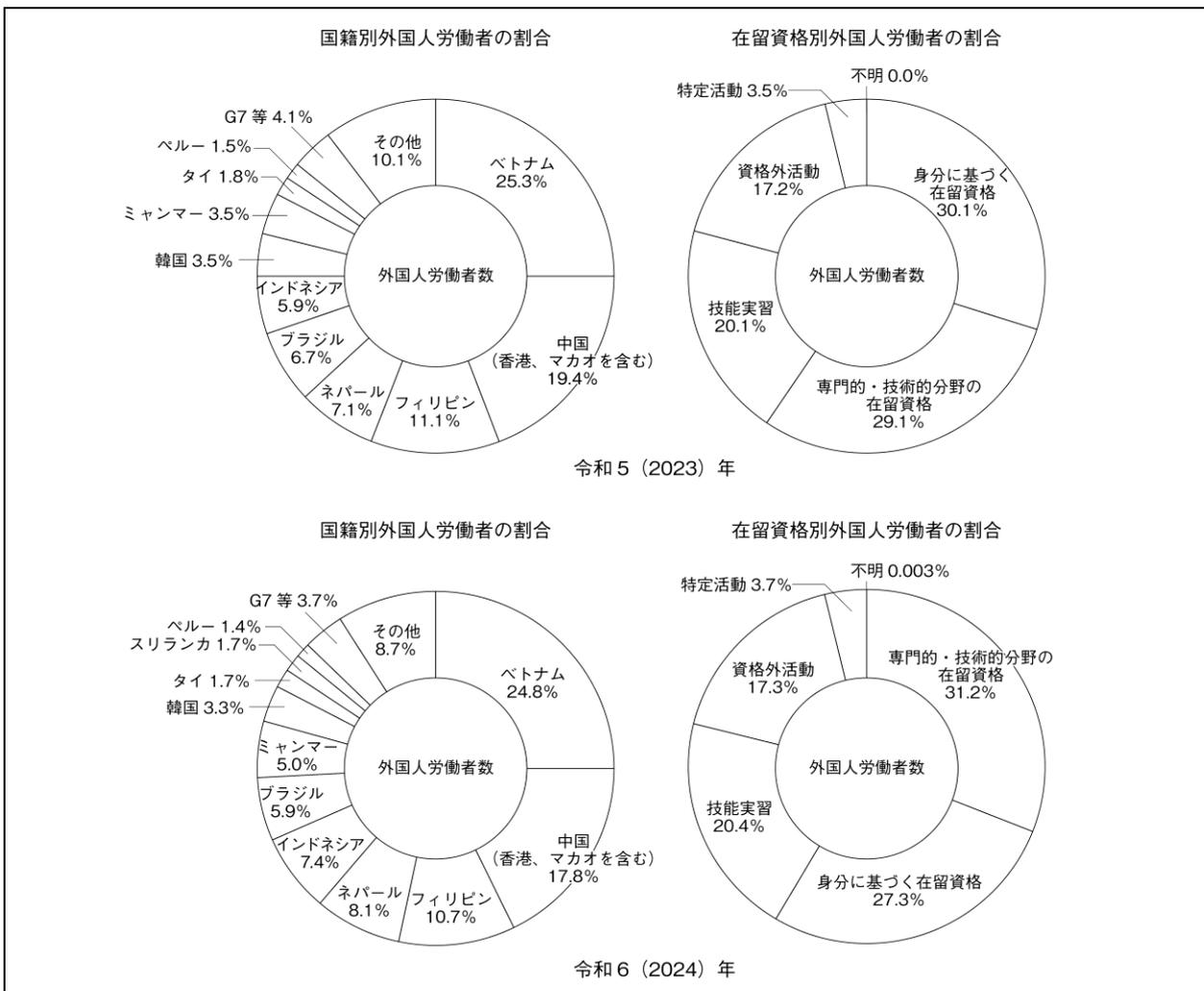
(2)〔資料2〕～〔資料5〕は、日本に住む外国人や外国人労働者に関するものである。〔資料2〕～〔資料5〕について説明した内容として最も適切なものを、下のア～エより一つ選び記号で答えなさい。

〔資料2〕 都道府県別外国人労働者数の推移



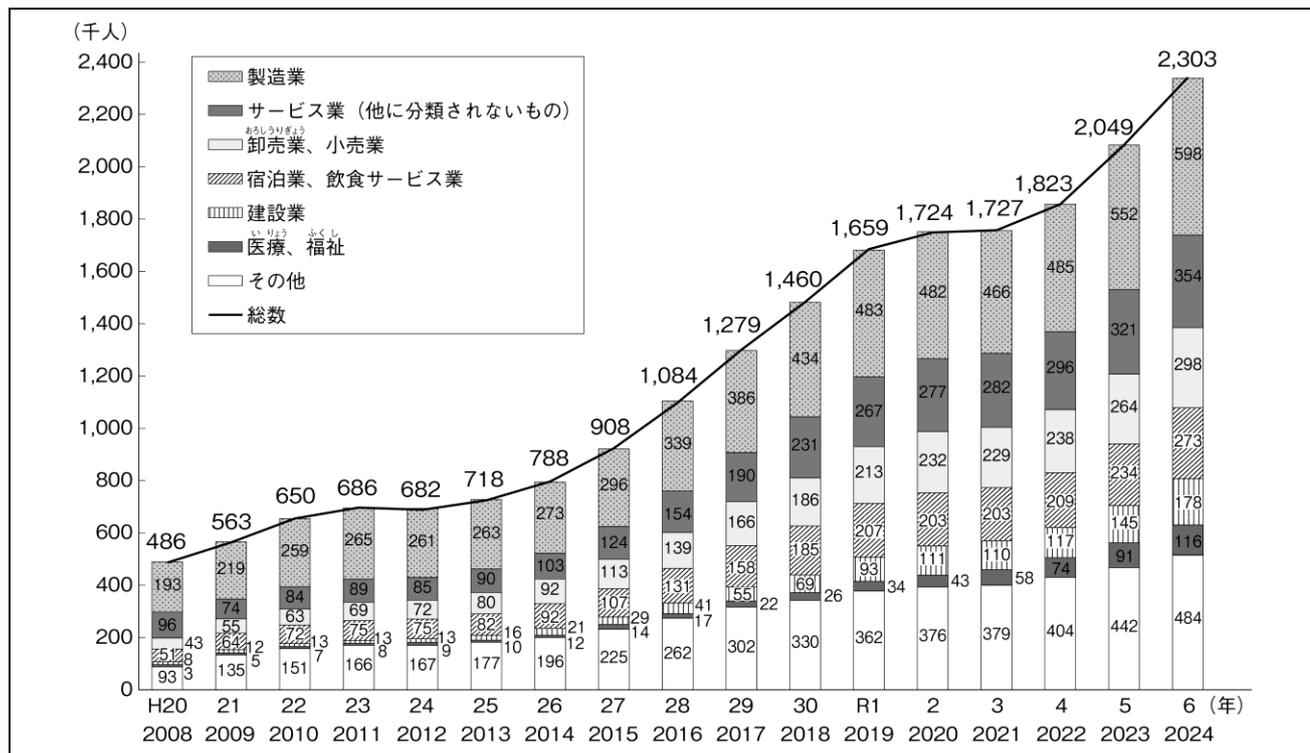
(厚生労働省 「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和6年10月末時点)をもとにし、問題作成のため一部改変しています。)

〔資料3〕 日本における外国人雇用状況



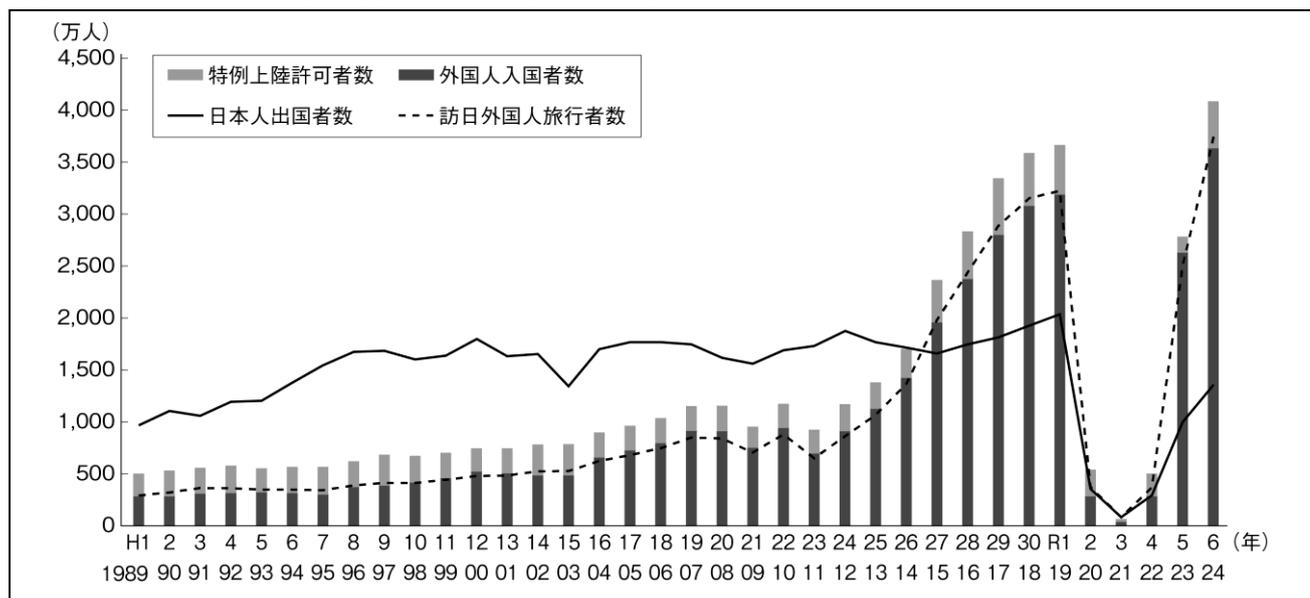
(厚生労働省 「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和5年10月末時点)および厚生労働省 「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和6年10月末時点)をもとにし、問題作成のため一部改変しています。)

〔資料4〕産業別外国人労働者数の推移



(厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和6年10月末時点)をもとにし、問題作成のため一部改変しています。)

〔資料5〕外国人入国者数・日本人出国者数等の推移



(出入国在留管理庁「【令和5年速報値】公表資料」をもとにし、問題作成のため一部改変しています。)

- ア 外国人入国者数は、平成26(2014)年に1,500万人を超え、平成28(2016)年には初めて日本人出国者数より多くなっており、令和6(2024)年に外国人労働者数は240万人を超えている。
- イ 令和5(2023)年から令和6(2024)年にかけて、日本に住む外国人労働者の国籍別の割合と専門的・技術的分野の在留資格が最も多いことに変化はない。
- ウ 外国人労働者の在留資格のうち、令和5(2023)年に技能実習の資格で来日している人が全体の約2割である。また、令和4(2022)～令和6(2024)年のいずれの年においても製造業とサービス業に従事する外国人労働者が全体の約4割である。
- エ 日本に住む外国人労働者の国籍は、令和5(2023)年は多い順に第1位から第5位までアジアの国々が占めている。また、外国人労働者は、首都圏及び大都市に集中しており、東北地方には少ない。

人の移住や移動は一人ではなく家族単位となる場合もあります。その際、自分の家族の移住や移動に伴って子どもの移住や移動がおきます。移住や移動による子どもを取りまく状況について考えてみましょう。

問2 子どもの移住や移動と教育に関する内容について、次の問いに答えなさい。

(1)子どもは、1989年に採択された児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)において様々な権利を持つと定められています。〔資料6〕の内容をふまえて〔資料7〕を読み、現在のドイツにおける子どもの教育に関する課題とその要因となっていることとは何か、5行程度で説明しなさい。解答は解答欄の枠内に書きなさい。

〔資料6〕子どもの権利条約

第28条【教育を受ける権利】

子どもは教育を受ける権利をもっています。国は、すべての子どもが小学校に行けるようにしなければなりません。さらに上の学校に進みたいときには、みんなにそのチャンスが与えられなければなりません。学校のきまりは、子どもの尊厳が守られるという考え方からはずれるものであってはなりません。



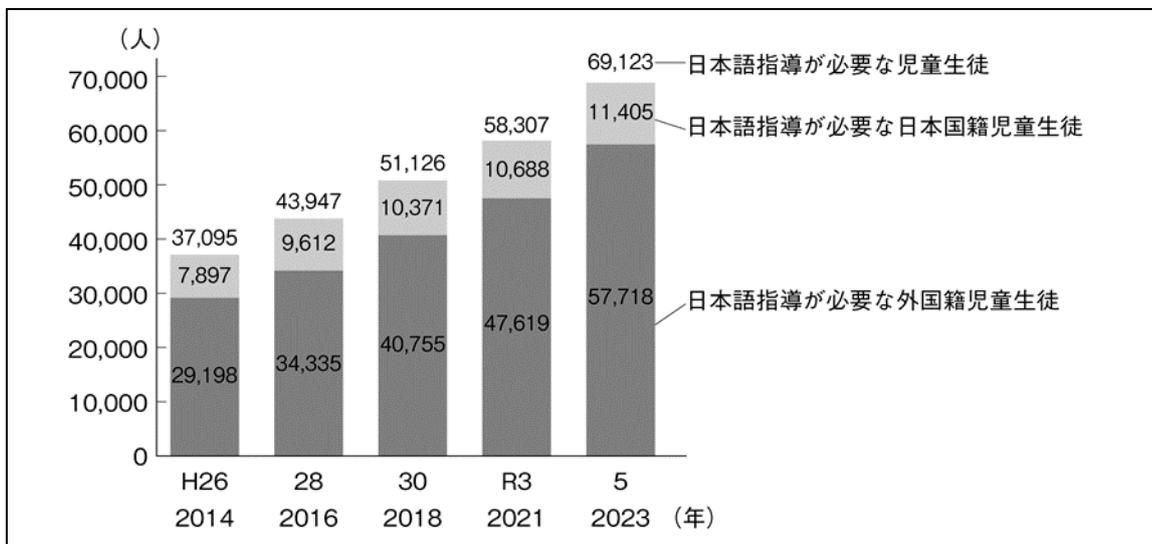
(日本ユニセフ協会「子どもの権利条約カードブック」より作成)

〔資料7〕ドイツの教育の現状

著作権の都合上、非公開とします。

(2)近年、日本の学校でも日本語指導が必要な児童生徒が多くなってきています。〔資料8〕のグラフを読み取り、下の文の(A)に入る最も適切な数値を、下のア～エより一つ選び記号で答えなさい。(ただし、小数第2位を四捨五入して考えなさい。)

〔資料8〕 公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数の推移



(文部科学省「公立学校の日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」令和7年4月をもとにし、問題作成のため一部改変しています。)

日本語指導が必要な児童生徒の人数は、2016年と2023年を比べると(A)倍に増えている。

ア 1.6

イ 1.9

ウ 2.2

エ 2.5

- (3) 日本の公立学校における日本語指導が必要な児童生徒への対応について〔資料9〕および〔資料10〕から読み取れることのうち、最も適切なものはどれか、下のア～オより一つ選び記号で答えなさい。

〔資料9〕小学校学習指導要領(平成29年公示)解説総則編

帰国児童や外国人児童、外国につながる児童の中には、日本語の能力が不十分であったり、日常的な会話はできていても学習に必要な日本語の能力が十分ではなく、学習活動への参加に支障が生じたりする場合がある。このため、児童が日本語を用いて学校生活を営むとともに、学習に取り組むことができるよう、一人一人の日本語の能力を的確に把握しつつ各教科等や日本語の指導の目標を明確に示し、きめ細かな指導を行うことが大切である。また、このような考え方は学習状況の評価に当たって児童一人一人の状況をきめ細かに見取っていく際にも参考となる。

(「小学校学習指導要領(平成29年公示)解説総則編」より作成)

〔資料10〕東京都墨田区すみだくの取り組み

著作権の都合上、非公開とします。

- ア 日本の公立学校では、日本語の能力が不十分でも元々話せる言葉だけを用いて学校生活を営むとともに、学習に取り組むことができるように指導する。
- イ 学習状況の評価に当たっては、日常的な会話ができれば、一人一人の状況を的確に見取らずに指導する。
- ウ 一人一人の日本語の能力を的確に把握して、各教科や日本語の指導の目標を明確にする。
- エ 一人一人の母語の能力を的確に把握して、各教科や母語の指導の目標を明確にする。
- オ 子どもの来日の経緯、日本語力や学習歴、進路希望などは個人のプライバシーにかかわるので聞き取りを行わないようにする。

このページに検査問題はありません。次のページに進んでください。

問3 日本の学校や社会における多様な文化の受け入れ(「多文化共生」)に向けて、〔資料 11〕を読み、次の問いに答えなさい。

〔資料 11〕 移民第二世代と継承語

著作権の都合上、非公開とします。

- ※1 包摂：一定の範囲の中につつま込むこと。
- ※2 エスニシティ：他の集団とは区別された、血縁・地縁、独自の文化などに属しているという意識を共有する人々の集団のこと。
- ※3 熟達：熟練して上達すること。
- ※4 精通：詳しくよく知っていること。物事によく通じていること。熟知。
- ※5 アイデンティティ：自分が何者であるかを知り、自分が自分であることを理解すること。

(1)移民第二世代について説明した内容として最も適切なものを、次のア～エより一つ選び記号で答えなさい。

- ア 親も本人も外国で生まれた人
- イ 親は日本生まれだが、本人は外国で生まれた人
- ウ 父親か母親のどちらかが外国生まれだが、本人は今住んでいる国で生まれた人
- エ 親も本人も今住んでいる国で生まれたが、ルーツである国の言葉しか知らない人

(2)移民第二世代の現状として当てはまらないものを、次のア～エより一つ選び記号で答えなさい。

- ア 家庭での言語が親の母語であると、住んでいる地域の文化をより理解する機会が少ない。
- イ 今住んでいる国の言語や文化に、生まれたときからなじんでいるとは限らない。
- ウ 継承語教育が広がりすぎたために、親の母語や母文化を学ぶ機会が減っており、子ども自身のアイデンティティが形成される。
- エ 親子のコミュニケーションが難しいだけでなく、文化やアイデンティティをめぐって親子のギャップが生まれる。

(3)継承語教育の主な目標として最も適切なものを、次のア～エより一つ選び記号で答えなさい。

- ア 移民第二世代が、親の国の文化を忘れ、今住んでいる国の文化に完全にとけこむこと
- イ 移民第二世代が、親の国の言語を使い家族との会話を豊かにし、自分のルーツに誇りをもてるようにすること
- ウ 家族で住んでいる国の言語を親が学び、家庭での会話をすべて、今住んでいる国の言語に変えること
- エ 移民第二世代が、いつでも親の国に^{もど}帰れるように、親の国の言語を学ぶこと

(4)「多文化共生」とは、国や文化、考え方が違う人が、^{ちが}互いの文化の違いを認めて、一緒に生きていくことです。「多文化共生」社会に向けて、日本ではますます課題が増えています。「多文化共生」社会に向けて、あなたは、学校のクラスの中でどのようにクラス作りに取り組んでいくとよいと考えますか。以下の3点をふまえて、あなたの考えを360字以上400字以内で書きなさい。

- ・〔資料11〕の内容を前提として考える
〔資料1〕～〔資料10〕のうち二つ以上の資料をあげて理由とする
書き方の例：資料1からは、～ということがわかる。
- ・「多文化共生」の考えにふれる
- ・あなたは、外国にルーツを持つ子が複数いるクラスの一員である

これ以降, 問題はありません。

受検番号

令和8(2026)年度 第1学年4月入学選抜検査 適性検査II

問1

(1)

(2)

--

問2

(1)

(2)

--

(3)

--

問3

(1)

--

(2)

--

(3)

--

受検番号

令和8(2026)年度 第1学年4月入学選抜検査 適性検査II

問1

(1) (解答例)

韓国, 日本, 中国ともに出生率が低下しており, 労働年齢人口の減少が続いている。

そのため, 日本や韓国は不足している労働力の確保を目的として外国人労働者を受け

入れる政策を進めている。

(2)

ウ

問2

(1) (解答例)

移民先で使用されている言語を身につけるまでに時間がかかるため, 移民の子どものドイツ

語能力は低くなる傾向にあり, 現地の子どもとの学力差が生まれやすい。ドイツの教育

制度は比較的早い時点で学力により進学コースか職業コースに選別されるため, 十分なドイツ

語力を持たない学力の低い移民の子どもは, 高等教育を受ける機会を失う状況につながっ

てしまっていること。

(2)

ア

(3)

ウ

問3

(1)

ウ

(2)

ウ

(3)

イ

